

平月の入隊者獲得へ潜水艦見学



平成30年度受験予定者と丸山広報官

自衛隊神奈川地方協力本部横須賀地域事務所（所長 松浦一海尉）は、5月19日（土）神奈川県本HPで潜水艦見学希望者を募り、厳正な抽選で選ばれた募集対象者を含む27名に対し、米海軍横須賀基地に所在する潜水艦「せとしお」の特別公開を行った。

この日は、関東近辺から募集対象者が集まり、夏のような日差しの中で見学が行われた。第2潜水艦群では、潜水艦の特徴や歴史などの説明があり、潜水艦の増勢に伴い乗員を増やす計画があることも募集対象者に伝えられた。

その後、潜水艦の前で記念撮影をして艦内に入ると、異常な狭さと機械だらけの潜水艦に興味を示していた。艦内での乗組員による懇切丁寧な説明を聞いた対象者達は満足していた。

募集対象者の女性から、「女性は乗れないんですか？」との質問に対し、乗員は「今は乗れないが、将来的には乗れるようになると思う」との言葉に、女性は「自衛隊に入隊し、乗れるようになったら希望します」との声が聞かれた。潜水艦は現在、増勢を目指している中で乗員不足を解消するため、横須賀事務所は「今後も、積極的に部隊と連携し潜水艦イベントを企画し、海上自衛隊に興味を持っていただけるようなPR活動をしていきたい」としている。

部隊の記念行事で入隊者を激励



担当広報官と笑顔を見せる眞鍋自衛官候補生



久しぶりの再会にやや緊張気味の西一般曹候補生

自衛隊神奈川地方協力本部上大岡募集案内所（所長 平原一等陸尉）は、5月27日（日）陸上自衛隊武山駐屯地で実施された東部方面混成団記念行事での募集広報に参加し、この春一般曹候補生及び自衛官候補生として入隊した隊員らの激励も併せて実施した。

3月末に入隊し2ヶ月足らずの新隊員が堂々の行進や自衛隊体操を披露し、成長した姿を見せた隊員たちは観客からの拍手喝采を浴びた。式典等の行事終了後、親御さんや同期などと一緒に広報ブースに訪れ「教育はきついこともあるけど頑張っています」「友達もできて楽しいです」など笑顔で話し、広報官もやり甲斐を感じている様子であった。その他に、「希望している職種に行けるか心配です」と、教育訓練に一生懸命ながらもこの時期の不安な心境も頼えた。

上大岡募集案内所は、「今後も色々な機会を通じ、入隊後の隊員の激励を行うなど連絡を取り合い、募集対象者である後輩学生に受験のアドバイスをもらう機会を設けるなど連携し募集広報に努めていきたい」としている。

「任期制士将来設計教育」で予備自衛官等制度をPR



予備自衛官等制度について聴講する海上自衛隊の任期制士

自衛隊神奈川地方協力本部（本部長 1等海佐 山野太資）は、5月28日（月）、29日（火）の両日、海上自衛隊横須賀地方総監部で実施された「平成30年度任期制士将来設計教育（キャリアビジョン設計教育）」に参加し、予備自衛官等制度についての説明を行うとともに、予備自衛官等への志願勧誘を実施した。

本教育は、海上自衛隊の任期制士に対し、将来の計画を立てるために必要な知識を付与し、自己の在り方の確立と能力開発を図る契機とすることを目的に実施されたもので、2日間で91名が参加した。

当日は、制度広報DVD等を活用して予備自衛官等の制度や訓練内容などについて紹介するとともに、海上自衛官も陸上予備自衛官を経ることで即応予備自衛官に志願できることなどスライドを見せながら分かり易く説明した。

神奈川地本では、海上自衛隊出身の即応予備自衛官9名を管理しており、コア部隊の重要な一員として活躍していることから「今後も、あらゆる機会を活用して予備自衛官等制度の周知を図り、予備自衛官等の勢力拡大に努めていきたい」としている。